

ハエの防除対策をしましょう！

気温が上昇し、ハエの発生が始まる時期となりました。
成虫対策だけでなく、卵・幼虫対策もしっかりと行いましょう。

80%

卵

産卵数
50～150個



半日～1日



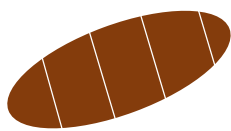
幼虫

4～6日



サナギ

4～7日



卵・幼虫対策

(1) 清潔な状態の維持

- ・ハエは、水分が多く、有機物が多い場所に産卵します。
- ・特に、畜舎の隅、汚水だまり、残餌などを清掃しましょう。

(2) 適切な堆肥処理

- ・高温(40℃以上)、乾燥(50%以下)でふ化率が激減します。
- ・ブルーシートで堆肥を覆い、日光の熱を蓄えて堆肥の温度を上げましょう。
- ・卵をふ化させないよう、1週間以内の間隔で切り返しましょう。

(3) 殺虫剤散布(IGR剤)

- ・IGR剤(幼虫の発育を阻害する殺虫剤)を1ヶ月の間隔で、堆肥舎などに散布しましょう。

成虫対策

(1) 粘着シートの設置

- ・ハエ取り用粘着シートを、地上高1m以内に設置するのが効果的です。

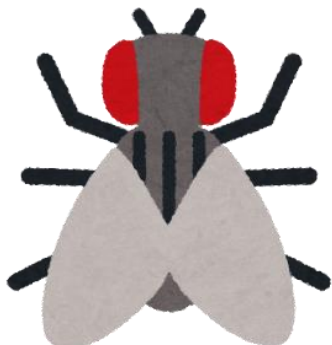
(2) 殺虫剤散布(成虫用)

- ・有機リン系や合成ピレスロイド系等の殺虫剤を散布しましょう。

20%

成虫

- ・数回産卵
- ・新鮮便に産卵



※薬剤は、用法・用量を守って使用してください。
畜体にかかると休薬期間が必要になることがあるため、ご注意ください。

岐阜県中央家畜保健衛生所

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1

TEL : 058-201-0530

FAX : 058-201-0531

Email : c24502@pref.gifu.lg.jp

